

# 平成25年度 財政状況資料集

## 総括表（市町村）

都道府県名	千葉県		市町村類型	IV-1	指定団体等の指定状況		区分		平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	区分		平成25年度(千円・%)	平成24年度(千円・%)
					財政健全化等	×	歳入総額	131,148,063			138,053,982	実質収支比率		
市町村名	市川市		地方交付税種地	1-7	財源超過	×	歳出総額	127,452,847	136,165,845	経常収支比率	93.3	95.6	(94.8)	(97.1)
					首都	○	歳入歳出差引	3,695,216	1,888,137	(※1)				
					近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	398,144	262,160	標準財政規模	78,637,595	77,538,887		
					中部	×	実質収支	3,297,072	1,625,977	財政力指数	1.00	1.03		
人口	22年国調(人)	473,919	産業構造(※5)		中部	×	単年度収支	1,671,095	-725,477	公債費負担比率	9.6	9.8		
	17年国調(人)	466,608			近畿	×	積立金	11,658	23,828	健全化判断比率				
	増減率(%)	1.6			山振	×	繰上償還金	-	-	実質赤字比率				
住民基本台帳人口(※6)	26.01.01(人)	469,148	第1次	22年国調	17年国調	低開発	×	積立金取崩し額	-	1,000,000	連結実質赤字比率			
	うち日本人(人)	457,642		1,243	1,550	指数表選定	○	実質単年度収支	1,682,753	-1,701,649	実質公債費比率	1.8	2.4	
	25.03.31(人)	468,367	第2次	0.6	0.7			基準財政収入額	59,063,671	58,479,491	資金不足比率(※4)			
	うち日本人(人)	457,090		35,824	44,943			基準財政需要額	59,418,671	58,519,275				
	増減率(%)	0.2	第3次	17.6	19.2			標準税収入額等	76,949,424	76,254,622				
	うち日本人(%)	0.1		166,583	179,830			経常経費充当一般財源等	75,445,798	74,937,614				
面積(km <sup>2</sup> )	57.40		81.8	76.7			歳入一般財源等	91,215,704	91,847,398					
人口密度(人/km <sup>2</sup> )	8,256													
世帯数(世帯)	220,582													
職員の状況														
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	65,232,393	68,309,195			
	市区町村長	1	9,652		一般職員	2,902	10,157,000	3,500	うち公的資金	47,008,402	49,831,925			
	副市区町村長	2	7,952		うち消防職員	509	1,700,060	3,340	債務負担行為額(支出予定額)	21,918,698	20,857,338			
	教育長	1	7,062		うち技能労務職員	269	995,300	3,700	収益事業収入	-	-			
	議会議長	1	7,240		教育公務員	63	224,065	3,557	土地開発基金現在高	2,056,001	2,055,732			
	議会副議長	1	6,520		臨時職員	-	-	-	財政調整基金	9,142,723	8,318,065			
	議会議員	40	6,040		合計	2,965	10,381,065	3,501	積立金現在高	213,728	213,126			
						ラスパイレス指数			103.4	その他特定目的基金	8,743,234	9,120,838		
一般会計等の一覧 項番	会計名	事業会計の一覧 項番	会計名	公営企業(法適)の一覧 項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧 項番	会計名	関係する一部事務組合等 組合等名	地方公社・第三セクター等 団体名	(※3)				
(1)	一般会計	(2)	国民健康保険特別会計	(6)	病院事業会計	(7)	下水道事業特別会計	(9)	千葉県市町村総合事務組合(一般会計)	(15)	市川市清掃公社			
		(3)	介護保険特別会計			(8)	地方卸売市場事業特別会計	(10)	千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治会館管理運営特別会計)	(16)	市川市花と緑のまちづくり財団			
		(4)	後期高齢者医療特別会計					(11)	千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治研修センター特別会計)	(17)	市川市文化振興財団			
		(5)	介護老人保健施設特別会計					(12)	千葉県市町村総合事務組合(千葉県市町村交通災害共済特別会計)	(18)	本八幡ビル			
								(13)	千葉県後期高齢者医療広域連合(一般会計)	(19)	市川市土地開発公社			
								(14)	千葉県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)	(20)	北総鉄道			

(注釈) ※1: 経常収支比率の( )内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。  
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。  
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。  
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。  
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。  
 ※6: 住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度の住民基本台帳人口については、平成26年1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口を記載している。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)				地方税の状況(単位:千円・%)				歳出の状況(単位:千円・%)							
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	目的別歳出の状況(単位:千円・%)						
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	区分	収入済額	構成比	超過課税分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率		
地方税	78,443,381	59.8	72,296,813	90.9	普通税	70,748,829	90.2	253,652	議会費	835,122	0.7	-	835,122		
地方譲与税	725,917	0.6	725,917	0.9	法定普通税	70,748,829	90.2	253,652	総務費	14,168,768	11.1	315,835	12,559,609		
利子割交付金	176,242	0.1	176,242	0.2	市町村民税	40,151,148	51.2	253,652	民生費	54,396,049	42.7	450,177	28,177,500		
配当割交付金	336,484	0.3	336,484	0.4	個人均等割	739,689	0.9	-	衛生費	14,603,963	11.5	1,935,268	10,893,908		
株式等譲渡所得割交付金	619,233	0.5	619,233	0.8	所得割	35,795,078	45.6	-	労働費	139,645	0.1	-	217,485		
地方消費税交付金	3,567,415	2.7	3,567,415	4.5	法人均等割	1,029,825	1.3	-	農林水産業費	231,592	0.2	-	130,710		
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-	-	法人税割	2,586,556	3.3	253,652	商工費	1,413,163	1.1	3,605	465,198		
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	27,405,583	34.9	-	土木費	11,605,822	9.1	4,618,179	8,376,298		
自動車取得税交付金	321,290	0.2	321,290	0.4	うち純固定資産税	27,317,990	34.8	-	消防費	5,311,145	4.2	275,948	5,070,645		
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	222,487	0.3	-	教育費	15,537,097	12.2	4,142,080	12,000,414		
地方特例交付金	292,374	0.2	292,374	0.4	市町村たばこ税	2,969,611	3.8	-	災害復旧費	17,930	0.0	-	1,703		
地方交付税	720,737	0.5	355,000	0.4	鉱産税	-	-	-	公債費	9,192,551	7.2	-	8,791,896		
普通交付税	355,000	0.3	355,000	0.4	特別土地保有税	-	-	-	諸支費	-	-	-	-		
特別交付税	185,566	0.1	-	-	法定外普通税	-	-	-	前年度繰上充用金	-	-	-	-		
震災復興特別交付税	180,171	0.1	-	-	目的税	7,694,552	9.8	-	歳出合計	127,452,847	100.0	11,741,092	87,520,488		
(一般財源計)	85,203,073	65.0	78,690,768	98.9	法定目的税	7,694,552	9.8	-	性質別歳出の状況(単位:千円・%)						
交通安全対策特別交付金	49,781	0.0	49,781	0.1	入湯税	-	-	-	区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率	
分担金・負担金	1,043,554	0.8	-	-	事業所税	1,547,984	2.0	-	義務的経費計	72,158,383	56.6	46,753,821	45,738,318	56.5	
使用料	3,597,383	2.7	645,674	0.8	都市計画税	6,146,568	7.8	-	人件費	29,112,438	22.8	27,321,719	26,310,598	32.5	
手数料	1,141,806	0.9	-	-	水利地益税等	-	-	-	うち職員給	20,747,478	16.3	19,001,173	-	-	
国庫支出金	21,950,711	16.7	-	-	法定外目的税	-	-	-	扶助費	33,853,394	26.6	10,640,206	10,635,824	13.1	
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-	旧法による税	-	-	-	公債費	9,192,551	7.2	8,791,896	8,791,896	10.9	
都道府県支出金	6,789,966	5.2	-	-	合計	78,443,381	100.0	253,652	元利償還金	9,192,551	7.2	8,791,896	8,791,896	10.9	
財産収入	544,657	0.4	158,933	0.2	区分	平成25年度	平成24年度		内訳	うち元金	8,296,102	6.5	7,929,542	7,929,542	9.8
寄附金	244,786	0.2	-	-	合計	98.8	95.2	98.1	93.9	うち利子	896,449	0.7	862,354	862,354	1.1
繰入金	1,236,097	0.9	-	-	徴収率(%)	現・計	市町村民税	98.4	93.4	97.4	91.9	一時借入金利子	-	-	-
繰越金	1,075,137	0.8	-	-	合計	98.4	93.4	97.4	91.9	その他の経費	43,535,442	34.2	36,288,620	29,707,480	36.7
諸収入	3,051,812	2.3	8,258	0.0	公営事業等への繰出	国民健康保険事業会計の状況			物件費	23,462,709	18.4	19,126,965	18,009,008	22.3	
地方債	5,219,300	4.0	-	-	合計	13,262,464	実質収支	1,325,389	維持補修費	1,078,587	0.8	721,145	720,410	0.9	
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-	下水道	1,900,000	再差引収支	-1,698,979	補助費等	4,359,529	3.4	3,808,447	3,282,379	4.1	
うち臨時財政対策債	1,333,100	1.0	-	-	病院	452,000	加入世帯数(世帯)	74,390	うち一部事務組合負担金	19,656	0.0	19,656	19,656	0.0	
歳入合計	131,148,063	100.0	79,553,414	100.0	介護サービス	440,000	被保険者数(人)	121,156	繰出金	12,810,464	10.1	11,827,563	7,695,683	9.5	
					市場	13,000	被保険者	89	積立金	840,753	0.7	804,500	-	-	
					国民健康保険	4,300,000	1人当り	88	投資・出資金・貸付金	983,400	0.8	-	-	-	
					その他	6,157,464		234	前年度繰上充用金	-	-	-	-		
									投資的経費計	11,759,022	9.2	4,478,047	-	-	
									うち人件費	986,396	0.8	980,417	-	-	
									普通建設事業費	11,741,092	9.2	4,476,344	-	-	
									うち補助	6,057,611	4.8	313,400	-	-	
									うち単独	5,670,798	4.4	4,156,390	-	-	
									災害復旧事業費	17,930	0.0	1,703	-	-	
									失業対策事業費	-	-	-	-	-	
									歳出合計	127,452,847	100.0	87,520,488	-	-	

(注釈)  
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、  
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

平成25年度 千葉県市川市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	131,368	127,673	3,695	3,297	1,236	65,530	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							
296							
297							

### (3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	469,148	人(H26.1.1現在)			
うち日本人	457,642	人(H26.1.1現在)			
面積	57.40	km <sup>2</sup>			
歳入総額	131,148,063	千円	実 質 赤 字 比 率	-	%
歳出総額	127,452,847	千円	連 結 実 質 赤 字 比 率	-	%
実 質 収 支	3,297,072	千円	実 質 公 債 費 比 率	1.8	%
標準財政規模	78,637,595	千円	将 来 負 担 比 率	0.4	%
地方債現在高	65,232,393	千円	市 町 村 類 型	H21 IV-3 H22 IV-3 H23 IV-1	
			( 年 度 毎 )	H24 IV-1 H25 IV-1	



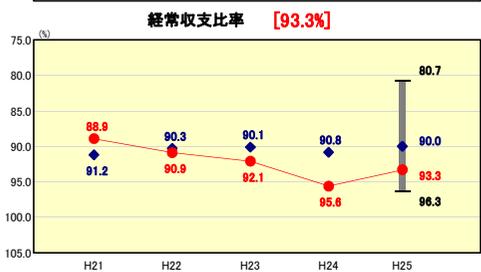
※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※平成26年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。  
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。  
 ※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。  
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。  
 ※住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度の住民基本台帳人口については、平成26年1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載している。

#### 財政力



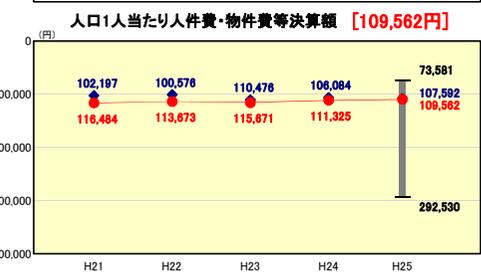
個人市民税をはじめとする市税収入が歳入全体に占める割合が高く、財政力指数は類似団体平均値を上回っている。しかし、前年度比較では、基準財政収入額と基準財政需要額の乖離が、平成24年度では4千万円であったのに対し、平成25年度では3億5,500万円に広がっており、基準財政需要額が基準財政収入額を上回った。今後も社会保障費や生活保護費を主な要因として基準財政需要額が伸びていく一方で、市税収入の大きな伸びは期待できないことに連動して基準財政収入額が低迷する見込みであることから、財政力指数は低下していくと予測している。

#### 財政構造の弾力性



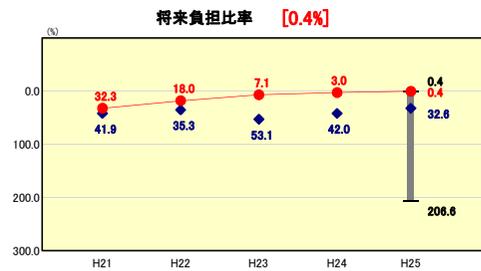
類似団体平均値が90.0%であるのに対し、本市は93.3%と4年連続で類似団体平均値を上回ることとなったが、前年度比較では2.3ポイントの改善となっている。この主な要因は、歳出面では人件費の減少傾向が継続しており、公債費においても償還が進み2億1,300万円減となったものの、物件費における妊婦乳児健康支援費補助金や子宮頸がん等クワンチン接種緊急促進臨時交付金の一般財源化などにより、歳出要因で0.7ポイント悪化させたこと、また歳入面では、個人市民税が景気回復により前年度と比べ7億3,400万円の増となったことなどにより、3.0ポイント改善する要因となった。今後も扶助費の増加傾向が緩和されると予想されることから、経常収支比率の悪化を食い止めるため、市税収入をはじめとする自主財源の確保に努める。

#### 人件費・物件費等の状況



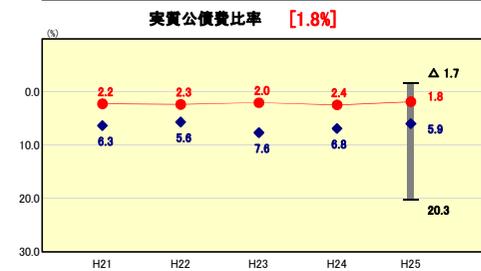
平成10年度まで行政需要の拡大に対し、職員採用をもって対応し、直営で行ってきた行政サービスがあることから、職員数が類似団体平均値より多いこと、また、職員数の抑制に伴う委託化やIT化の推進により物件費が高水準にあることから、人件費・物件費等の額は類似団体平均値を上回っているが、前年度比較では、人件費、物件費、維持費が全て減少したことから数値は向上した。今後とも定員適正化計画等に基づき、職員数や事務事業の見直しを進め、人件費・物件費等の適正化に努める。

#### 将来負担の状況



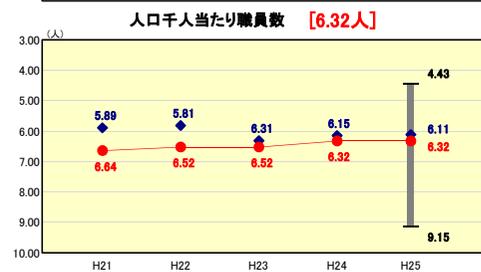
算定の分子である将来負担額において、地方債の償還が進み、地方債現在高が31億6千万円減額となったこと、及び職員退職金の支給率引き下げ、支給対象職員数の減により、退職手当支給予定額が、12億6千万円減額となったこと等により、本市の将来負担比率も2.6ポイント改善し0.4%となり、類似団体平均値との比較においても大きく下回った。これは、継続的に取り組んできた市債の計画的活用等の効果によるものであり、今後も将来債務を累積させない範囲内で市債の活用を図り、数値の保持に努める。

#### 公債費負担の状況



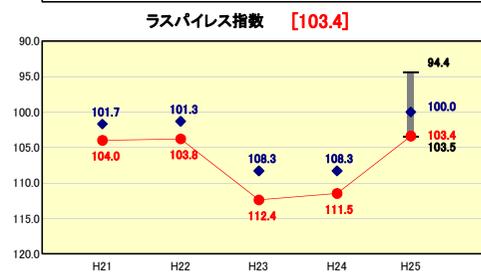
算定の分母となる標準財政規模が11億円増加したこと、及び分子となる公債費に準ずる債務負担行為について、東京ベイ・浦安市川医療センター整備事業補助金が平成24年度で終了したことなどにより6億9千万円減少したこと等により、0.6ポイント改善し、類似団体平均値を大きく下回る1.8%と良好な水準を維持している。これは、継続的に取り組んできた市債の計画的活用等の効果によるものであり、今後も将来債務を累積させない範囲内で市債の活用を図り、数値の保持に努める。

#### 定員管理の状況



行財政改革の一環として、これまで3回にわたる定員適正化計画を策定し、定員の適正化に取り組んできた。その結果、16年間で853人の正規職員を削減したものの、いまだ類似団体平均を上回る状況にある。これは民生部門において直営施設が多いこと、土木部門において他の団体にはない動植物園への職員配置、都市計画道路整備が本格化していることによる関係部署への職員配置などが影響していると分析している。これまでの定員適正化計画の成果を踏まえ、今後も効率的かつ効果的な行政運営を行うために、定員管理方針に基づき、更なる定員の適正化に努める。

#### 給与水準 (国との比較)



現行の給料表は年功序列的な体系となっており、経験年数の長い職員が給与水準を引き上げていることから、類似団体の中でも比較的高い水準となっている。平成26年度に人事給与制度改革を行い、給与表を独自表から国の給与表に改正した。経過措置があるため、緩やかではあるが、徐々に指数が100に収斂するものと見込んでいる。

# (4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成25年度

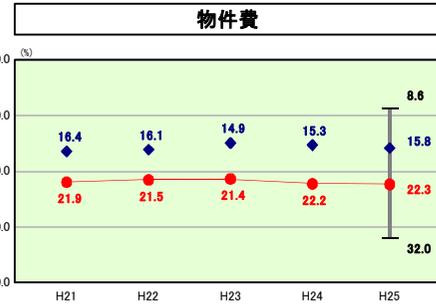
千葉県市川市

## 経常収支比率の分析

人口	469,148人	(H26.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	457,642人	(H26.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	57.40km <sup>2</sup>		実質公債費比率	1.8%
歳入総額	131,148,063千円		将来負担比率	0.4%
歳出総額	127,452,847千円		市町村類型	H21 IV-3 H22 IV-3 H23 IV-1
実質収支	3,297,072千円		(年度毎)	H24 IV-1 H25 IV-1
標準財政規模	78,637,595千円			
地方債現在高	65,232,393千円			

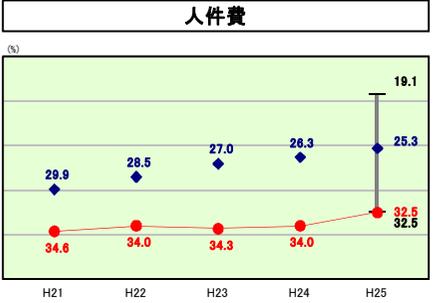


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度の住民基本台帳人口については、平成26年1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載している。



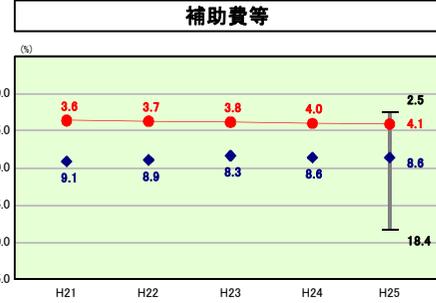
### 物件費の分析欄

物件費に係る経常収支比率は22.3%と類似団体平均値に比べ高い水準となっている。これは公立保育園などの直営施設や各種事業に携わる定数外職員の賃金が類似団体に比べて多くなっていること、また、施設管理の委託化やシステム構築費等のIT関連経費の増加等によるものである。  
 物件費に係わる比率は、平成22年度以降減少していたが、平成24年度以降は増加しており、今後、一層の委託内容等の精査を進め費用の削減に努める。



### 人件費の分析欄

人件費に係る経常収支比率は、32.5%と類似団体平均値に比べ高い水準となっている。これは、平成10年度まで行政需要の拡大に対し職員採用をもって対応し、保育園、社会福祉施設など市直営で行ってきた行政サービスがあるため、職員数が類似団体平均値より多いこと、経験年数の長い職員が給与水準を引き上げていることなどが要因であると分析している。  
 今後は人事院勧告を受けた国家公務員の給与改定等に準拠する給与水準の引き下げ実施や、指定管理者制度を活用した委託化の進展等により、人件費を低減させるよう努める。



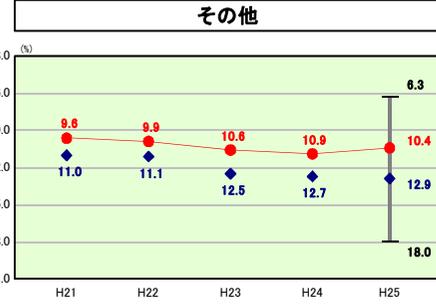
### 補助費等の分析欄

補助費等に係る経常収支比率は4.1%と類似団体の平均値に比べ低い水準となっている。これは、平成15年9月に補助金支出の妥当性を審査するための基準として「市川市補助金の交付に関する基準」を制定し、以降、同基準に基づき全庁的に補助金交付の適正化に取り組んできたことなどによる効果である。  
 補助費等に係わる比率は、新たな私立保育園の開設による補助金の増加等により上昇しており、今後も引き続き補助金支出の適正化に努める。



### 扶助費の分析欄

扶助費に係る経常収支比率は13.1%となっており、2年連続で類似団体平均値を上回った。これは障害者支援費や生活保護費が増加したこと等によるものであり、今後も資格審査の適正化等を進め、過度に財政を圧迫することがないように努めていく。



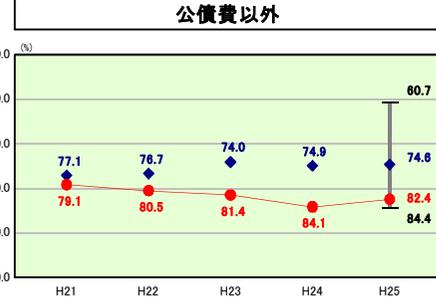
### その他の分析欄

その他に係る経常収支比率は10.4%と類似団体の平均値に比べ低い水準となっている。これは、資格の適正化や地域的な特性などにより、国保会計、介護保険会計等に対する繰出額が類似団体に比べ低額となっているのが主な要因である。  
 公営企業会計については、独立採算が原則であることから、今後も引き続き普通会計からの負担額の適正化に努める。



### 公債費の分析欄

前年度比較では、平成9年度に借入したし尿処理施設整備事業債や平成14年度に借入した臨時財政対策債の償還が終了したこと等により0.6ポイント減少しており、類似団体平均値との比較でも4.5ポイント下回っている。  
 今後も償還費用が財政を圧迫することのないよう、緊急度、住民ニーズを的確に把握した事業選択などに留意し、将来債務を累増させない範囲での市債活用に努める。



### 公債費以外の分析欄

公債費に係る経常収支比率が平成25年度は改善したにも関わらず、依然として本市の経常収支比率が類似団体の平均値に比べ高い水準となっている要因は、公債費以外によるものである。  
 特に、人件費、物件費、扶助費が高水準の原因であることが見て取れるが、扶助費の増加傾向は今後も継続と予測されることから、経常収支比率を改善し健全な財政運営を図るよう、職員数削減や事業、施設の統廃合といった行財政改革をさらに推進するとともに、市税収入をはじめとする自主財源の確保に努める。

# (4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成25年度

千葉県市川市

## 人件費及び人件費に準ずる費用の分析



## 人件費及び人件費に準ずる費用

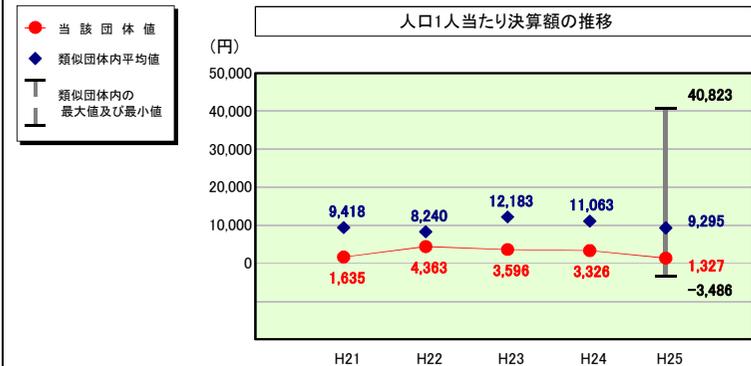
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	29,112,438	62,054	57,294	8.3
賃金 (物件費)	2,341,073	4,990	3,408	46.4
一部事務組合負担金 (補助費等)	6,231	13	2,192	▲99.4
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (補助費等)	238,662	509	715	▲28.8
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金)	1,074,401	2,290	2,255	1.6
事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費)	986,396	2,103	1,285	63.7
▲退職金	▲3,239,320	▲6,905	▲6,247	10.5
合計	30,519,881	65,054	60,903	6.8

## 参考

	当該団体	類似団体平均	対比 (差引)
人口1,000人当たり職員数 (人)	6.32	6.11	0.21
ラスパイレース指数	103.4	100.0	3.4

(注) 住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度の住民基本台帳人口については、平成26年1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口を記載している。

## 公債費及び公債費に準ずる費用の分析

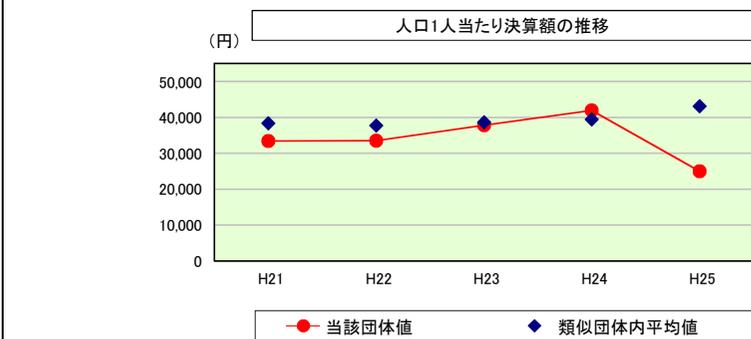


## 公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	8,784,048	18,723	32,245	▲41.9
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	4	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	83,333	178	33	439.4
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	1,411,016	3,008	8,277	▲63.7
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金	-	-	932	-
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	1,691,537	3,606	1,529	135.8
一時借入金利子 (同一団体に於ける会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	3	-
▲特定財源の額	▲3,708,915	▲7,906	▲7,647	3.4
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲7,638,542	▲16,282	▲26,081	▲37.6
合計	622,477	1,327	9,295	▲85.7

※平成26年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

## (参考) 普通建設事業費の分析



## 普通建設事業費

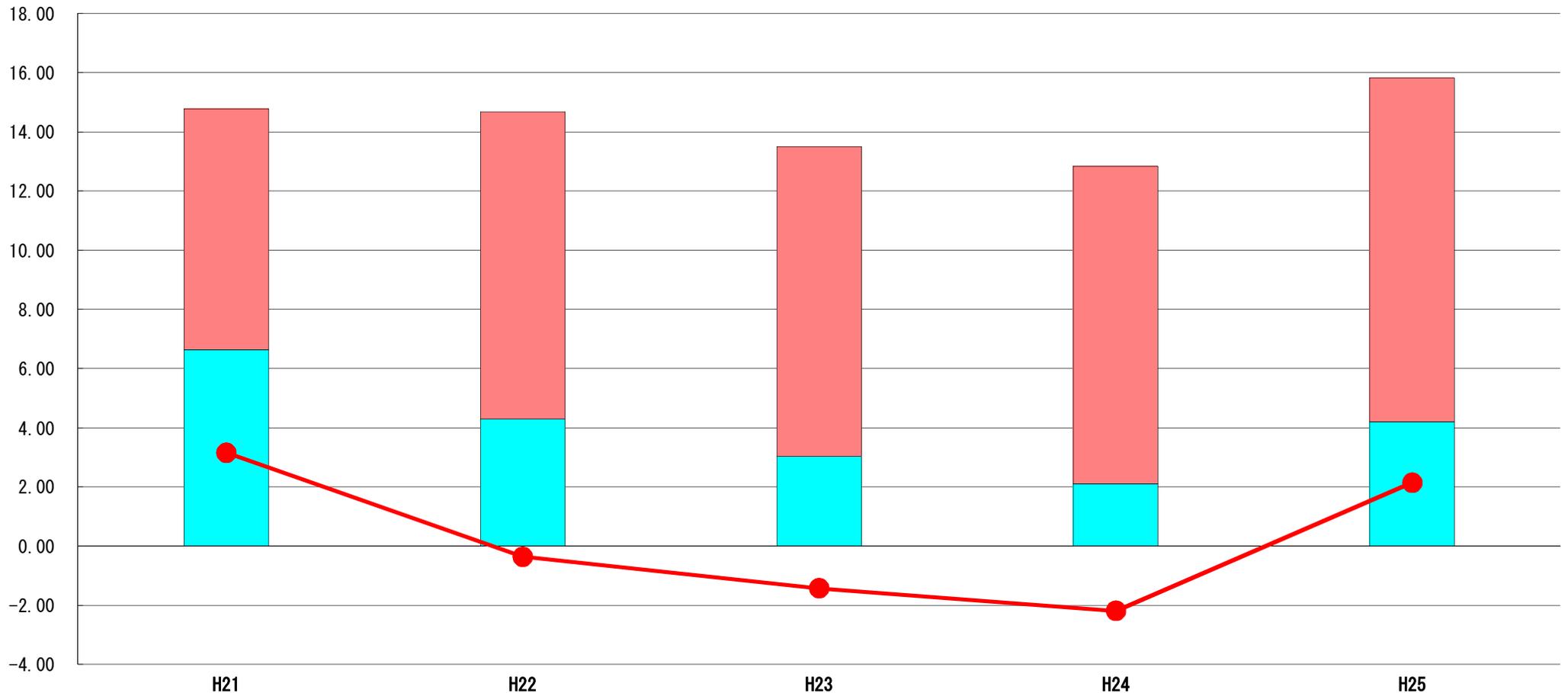
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	類似団体平均 (円)	増減率 (%) (B)	(A)-(B)
H21	15,407,201	33,375	▲8.2	38,349	6.9	▲15.1
うち単独分	7,791,253	16,877	21.5	22,585	6.2	15.3
H22	15,455,781	33,526	0.5	37,688	▲1.7	2.2
うち単独分	8,099,774	17,569	4.1	22,661	0.3	3.8
H23	17,352,673	37,832	12.8	38,606	2.4	10.4
うち単独分	10,152,777	22,135	26.0	22,435	▲1.0	27.0
H24	19,654,074	41,963	10.9	39,425	2.1	8.8
うち単独分	7,483,464	15,978	▲27.8	22,414	▲0.1	▲27.7
H25	11,741,092	25,026	▲40.4	43,141	9.4	▲49.8
うち単独分	5,670,798	12,087	▲24.4	21,887	▲2.4	▲22.0
過去5年間平均	15,922,164	34,344	▲4.9	39,442	3.8	▲8.7
うち単独分	7,839,613	16,929	▲0.1	22,396	0.6	▲0.7

# (5) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

平成25年度

千葉県市川市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H21	H22	H23	H24	H25
 財政調整基金残高		8.14	10.38	10.47	10.73	11.63
 実質収支額		6.63	4.29	3.03	2.10	4.19
 実質単年度収支		3.16	▲ 0.36	▲ 1.43	▲ 2.19	2.14

## 分析欄

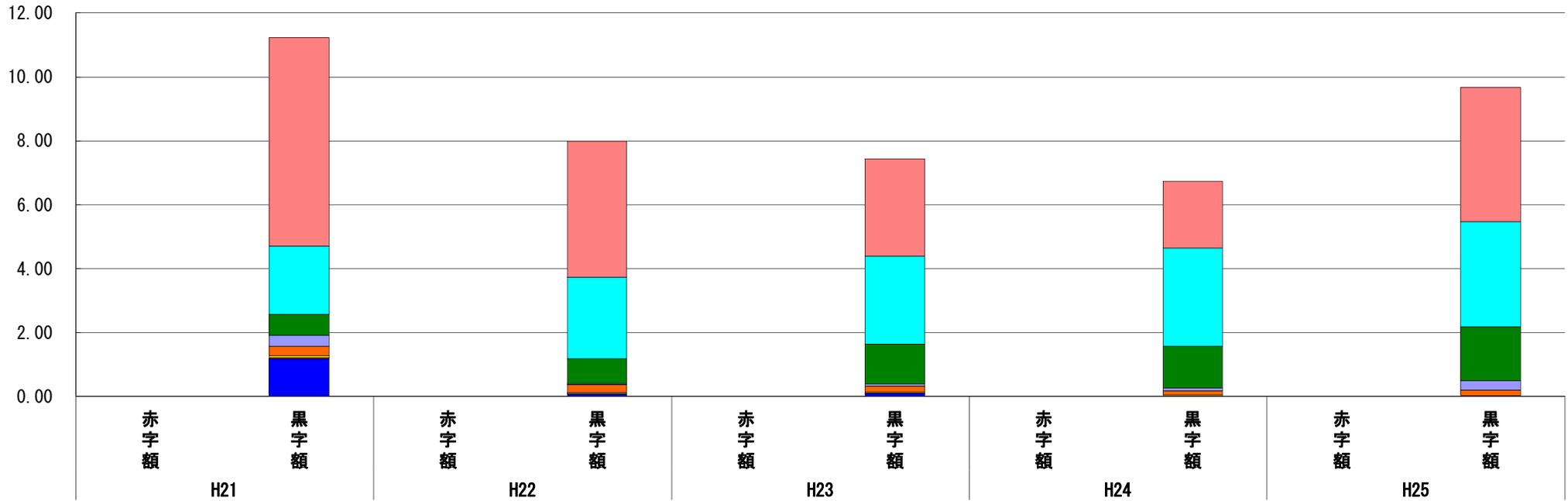
25年度は当初見込んでいなかった普通交付税の交付及び臨時財政対策債の発行があった。また、市税において現年分、滞納繰越分ともに前年度を上回り、当初の見込みを超える収納率となった。  
 この結果、実質収支額が16億7千万円増加し、24年度に比べ実質収支比率が2.09ポイント増の4.19%となり、実質単年度収支も2.14ポイント増となった。  
 財政調整基金残高も、25年度においては取崩を行わず、24年度の決算剰余金の2分の1相当額が純増となったことにより、大幅に増加している。

# (6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成25年度

千葉県市川市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

会計	年度	H21	H22	H23	H24	H25
一般会計		6.52	4.27	3.03	2.10	4.19
病院事業会計		2.13	2.54	2.76	3.06	3.29
国民健康保険特別会計		0.65	0.77	1.25	1.31	1.69
介護保険特別会計		0.34	0.04	0.06	0.10	0.29
下水道事業特別会計		0.30	0.25	0.19	0.13	0.17
介護老人保健施設特別会計		0.06	0.03	0.03	0.02	0.02
後期高齢者医療特別会計		0.05	0.02	0.01	0.02	0.01
地方卸売市場事業特別会計		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		1.17	0.07	0.10	-	-

## 分析欄

25年度は各会計とも黒字となったため、連結赤字比率の構成もすべて黒字となっている。  
今後とも各会計が健全な財政運営を図ることにより、赤字を生じさせないように努めていく。

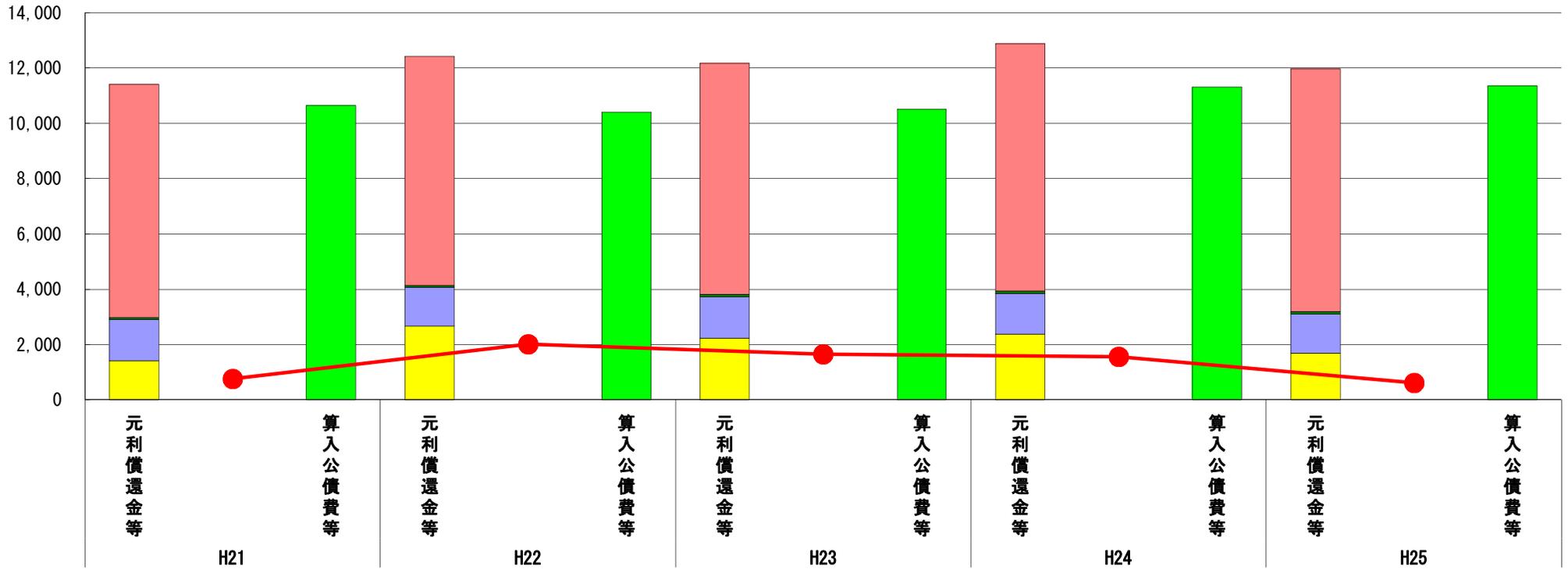
※平成26年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

# (7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成25年度

千葉県市川市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H21	H22	H23	H24	H25
元利償還金等 (A)	元利償還金		8,420	8,276	8,351	8,934	8,784
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		67	83	83	83	83
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		1,497	1,392	1,490	1,467	1,411
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		-	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出額		1,412	2,669	2,236	2,384	1,692
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		10,639	10,409	10,512	11,311	11,347
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		757	2,011	1,648	1,557	623

## 分析欄

元利償還金等は、債務負担行為に基づく支出額である東京ベイ・浦安市川医療センター整備事業補助金が、24年度で終了したことなどにより9億円の減となった。  
これに伴い、実質公債費比率は前年度比0.6%減の1.8%となり、良好な水準で推移している。  
今後も、債務費用が財政を圧迫することのないよう、将来債務を累増させない範囲で市債の活用に努め、数値の保持を図る。

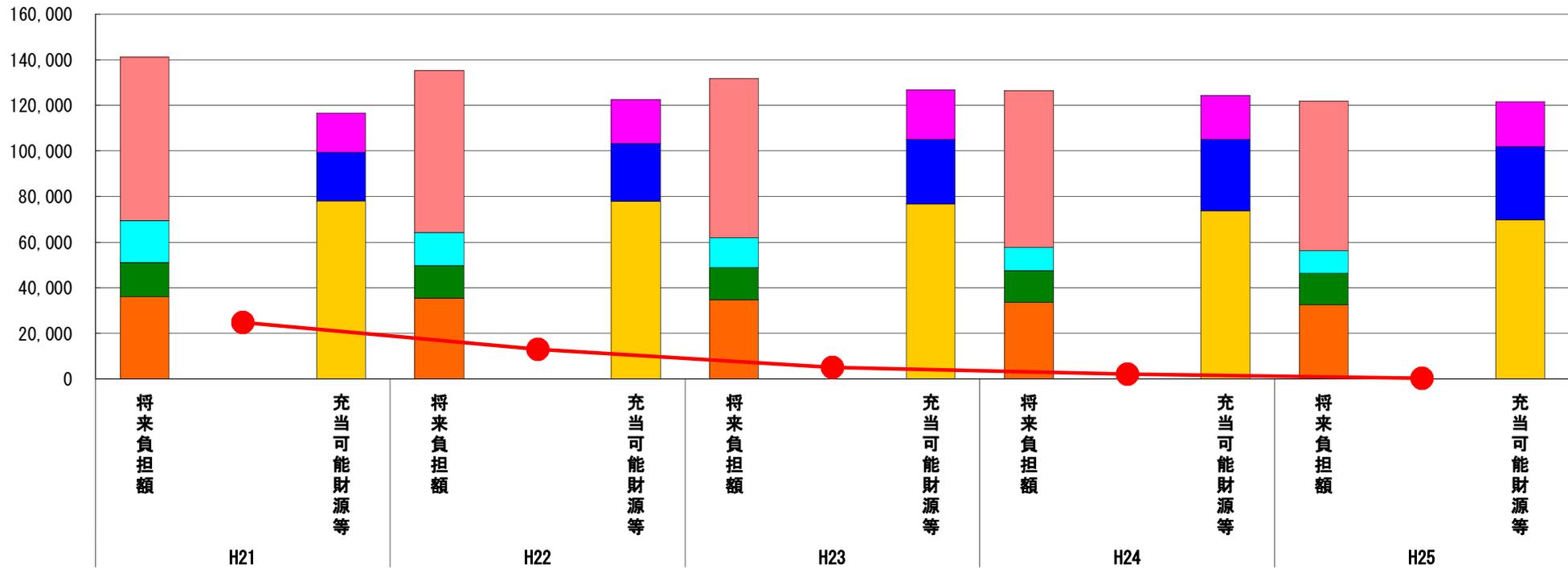
※平成26年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

## (8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成25年度

千葉県市川市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H21	H22	H23	H24	H25
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		71,657	71,076	69,782	68,690	65,530
	債務負担行為に基づく支出予定額		18,430	14,416	13,288	10,289	9,987
	公営企業債等繰入見込額		15,090	14,345	14,017	13,858	14,032
	組合等負担等見込額		-	-	-	-	-
	退職手当負担見込額		35,999	35,396	34,609	33,545	32,285
	設立法人等の負債額等負担見込額		16	49	40	22	47
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		17,130	19,277	21,664	19,262	19,786
	充当可能特定歳入		21,327	25,212	28,288	31,232	32,164
	基準財政需要額算入見込額		78,064	77,919	76,786	73,781	69,641
(A) - (B)	将来負担比率の分子		24,672	12,874	4,998	2,131	291

### 分析欄

将来負担額は、地方債の償還が進んだことによる一般会計等に係る地方債の現在高の減や、職員退職金支給率の引き下げと支給対象職員数の減少による退職手当負担見込額の減等を要因として、45億2千万円減少した。

充当可能財源等は、減税補填債償還費、臨時財政対策債償還費の算入予定割合の減等に伴う基準財政需要額算入見込み額の減等を要因として、26億8千万円減少した。

以上により、将来負担比率の分子は18億4千万円減少したことから、将来負担比率は前年度比2.6%改善し0.4%となり、引き続き良好な水準を維持している。今後も財政運営が圧迫されることのないよう、各種債務の的確な把握に努めるとともに、充当可能財源等のさらなる確保に努め、実質的な将来負担額の抑制を図っていく。

※平成26年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。